

Index

- 1-2 創立85周年特集
- 3 あなたの体調不調「気象病」かも!
- 4 結核・呼吸器感染症予防週間行事報告
～2025年9月24日から30日～
- 5 インフォメーション
 - ・空調設備改修工事のお知らせ～大阪総合健診センター～
 - ・堺複十字診療所をご利用いただく受診者様・患者様へ
 - ・あなたの血管年齢は何歳?
「第16回 寝屋川公園フェスティバル」に出展!
～大阪複十字病院～

Osaka Anti-Tuberculosis Association



創立85周年特集

Our history

本年3月、当法人は創立85周年を迎えました。ここに至るまでの歩みを振り返り、先人が築き上げた礎に改めて感謝するとともに、さらなる発展を目指して一層精進してまいります。



シールぼうや

◆結核予防会大阪府支部の設置

結核予防会大阪府支部は、昭和15年(1940年)3月に設置されました。当時の日本は、戦時体制下で、国民の健康管理が国家的な課題となっており、結核は「亡国病」と恐れられるほどまん延し、国民病として深刻な社会問題となっていました。このような状況の中、昭和14年(1939年)に、当時の皇后陛下より令旨を賜り、結核予防会の本部が設立されたことに伴い、各都道府県に支部を設置することが決定されました。大阪府においても、大正から昭和にかけて結核患者が多数発生し、その対策が急務とされていました。

◆結核研究所大阪支所と今村荒男氏

大阪府支部は、昭和15年(1940年)8月、大阪帝国大学微生物病研究所内に結核予防会結核研究所の大阪支所をおき、当時同大学微生物病研究所長であった今村荒男が支所長に委嘱されました。日本においていち早くBCG及びBCG人体接種、ツベルクリン反応や結核集団検診の研究を開始し、結核病学者として常にリードしてきた今村は、大阪支所における業務として、結核集団検診の強化、実施を第一に取り上げました。そこで、昭和15年に集団検診間接撮影用レントゲン自動車(わが国における第1号車)として完成させ、



今村 荒男氏

学校、事業所、一般住民などに活発な結核集団検診を開始しました。



◀集団検診が始まった当時の様子



▼胸部レントゲン車

◆相談診療所の設置

昭和15年(1940年)に大阪府支部は大阪府庁内に設置され、以来昭和23年(1948年)までは、歴代大阪府知事が支部長を兼ねており、支部の事業としては専ら結核予防思想の宣伝・普及に従事していました。昭和23年(1948年)からは、当時大阪大学総長であった今村荒男が支部長に就任して、さっそく相談診療所の開設に取り組み、大阪府庁から大阪市高麗橋5丁目の旧海軍水交社跡の建物の1階へ移転しました。同年7月に相談診療所を開設し、大阪大学医学部第三内科学教室からの協力医師6名、常勤看護婦3名のほか、薬剤師、X線技師、事務職員など総勢16名を以って診療を開始しました。



▲1948年7月に開設した相談診療所

◆History



◆附属療養所と大阪病院の設置

大阪府支部に附属の療養所を設置する計画は、昭和26年(1951年)に具体化され、理事会において議決されました。設置する場所は、検討を重ねた結果、大阪府北河内郡水本村(現寝屋川市)の明治乳業株式会社の所有地を借り受けることになりました。しかし、地元住民から結核療養所建設の反対運動が起こり、工事が一時中断しながらも、地元住民の説得に努めた結果、昭和29年(1954年)11月に開設いたしました。以後、療養所の業務は伸びてきたものの、昭和38年(1963年)頃から日本の結核事情は著しく好転し、結核患者のみを対象とした療養所の維持運営は難しくなってきたことに加え、開設以来20余年の歳月が経過する頃には、施設の老朽化も著しく、早急に改築されなければならない状態にありました。

一方、大阪府支部の集団検診事業は結核検診にとどまらず、心臓、がん、成人病などの検診も行っており、検診によって発見された患者を収容することも考える必要がありました。以上の諸事情から療養所の建て替えに際しては、結核以外の疾患も対象にした近代的な病院を建設することになり、昭和51年(1976年)10月6日に大阪病院が開院いたしました。



▲大阪府北河内郡水本村(現寝屋川市)に作られた療養所



▲1976年当時の大阪病院

◆堺高島屋内診療所の設置

前述のように昭和23年(1948年)に今村荒男が支部長就任後、相談診療所を開設したが、診療業務の急速な増大から、すでに昭和25年(1950年)の終わり頃から、診療所をもう一か所設置することが望ましいと考えられてきました。その後、昭和28年(1953年)大阪府支部が独立の財団法人として歩み始めると、さらに話が具体化し、新しい診療所の候補地を探し始めることとなりますが、なかなか実現にはいたりませんでした。

偶然にも、昭和39年(1964年)に大阪高島屋百貨店が南海電鉄堺東駅に隣接して堺支店を出店することを知り、理事会において、この機会に高島屋社員の健康管理をかねて支店内に診療所を開設することが慎重に検討され、高島屋と諸々交渉の結果、同年10月3日高島屋堺支店の開店と同時に堺高島屋内診療所が開設されました。堺市は大阪府下第一の工業都市で堺ならびに泉北臨海工業地帯をひかえ、診療業務、検診業務は順調に進展していき



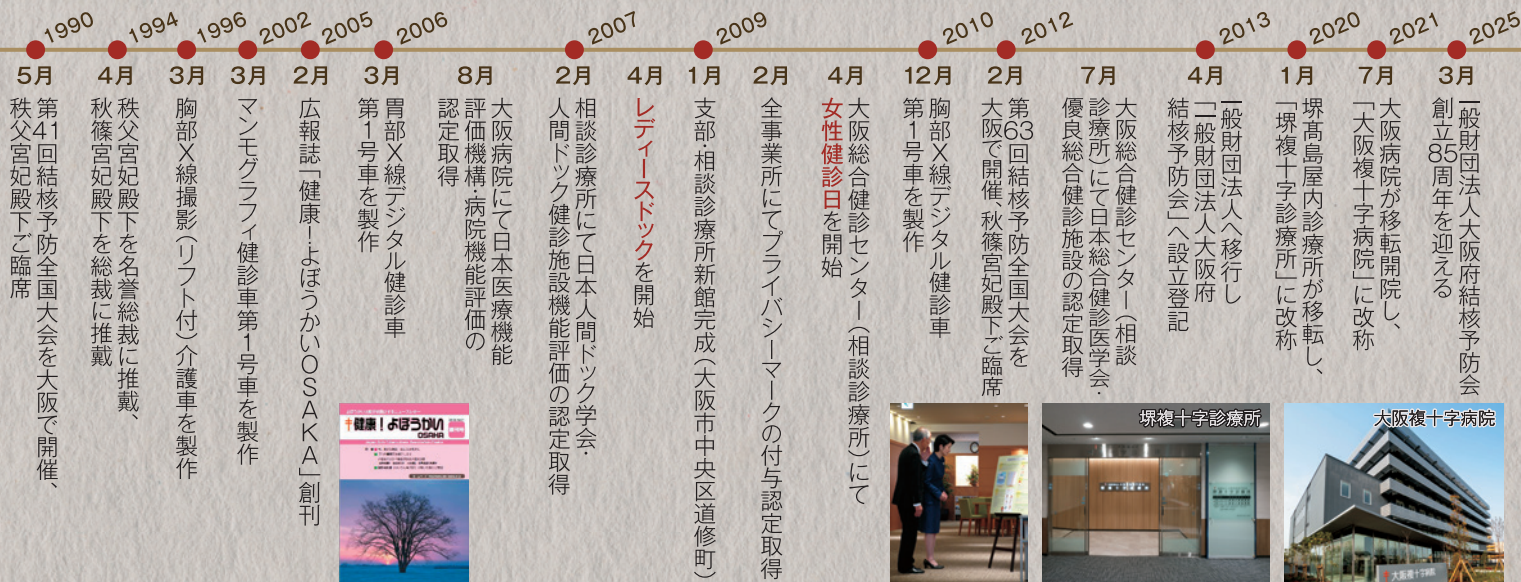
▲1964年当時の堺高島屋内診療所

◆さいごに

黎明期の大阪府結核予防会を振り返りながら、当法人の歩みと社会的役割を改めて確認しました。100周年という次の節目に向け、変化の激しい時代にあっても、常に社会に寄与できる法人であり続けたいと願っております。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



▲現在の大阪総合健診センター(相談診療所)



あなたのその体調不良「気象病」かも！

「低気圧が近づくと頭痛がする」「梅雨の時期は体がだるい」そんな経験はありませんか？

それは“気象病”と呼ばれる症状かもしれません。気象病とは、天候や気圧・気温などの気象変化によって引き起こされるさまざまな症状の総称です。医学的な正式名称ではありませんが、天候の変化に伴う体調不良を包括的に表す言葉として広く使われています。頭痛、めまい、関節痛、肩こり、腰痛、吐き気、喘息の悪化など、多彩な症状が報告されており、ごく軽い不調から日常生活に支障を来すケースまで様々です。

■ 気象病と天気痛

気象病のうち、特に頭痛、関節痛、腰痛などの痛みを伴う症状については「天気痛」という特別な呼び名が付けられており、多くの人々が経験する代表的な症状の一つとなっています。

日本では天気痛の自覚を持つ人が非常に多く、ウェザーニュース「天気痛調査2025」では、天気痛持ちが女性48%・男性21%との回答でした。また、「持っている気がする」と回答した方を合わせると、女性84%・男性50%の方が天気痛の自覚があることが分かります。

症状で最も多いのは頭痛(87%)、続いて眠気(53%)、3番目に肩こり・首こり(50%)、4番目はだるい(44%)という回答でした。男女別に見ると4番目までは同項目ですが、以降は性別による症状の傾向の違いが見られます。

年齢では、男女ともに40代が最も多く、女性は男性に比べて若い世代から発症しています。

■ 気象病のメカニズム

気象病が発生するメカニズムは完全には解明されていませんが、主に以下のような仕組みで発症すると考えられています。

①気圧の変化

耳の奥にある内耳という気管には気圧の変化を感じ取るセンサーがあり、気圧が下がるとその情報が脳に伝わります。急な気圧低下は体にストレスとなり、自律神経(交感神経)が過剰に反応して頭痛、めまい、肩こりなど様々な不調を引き起こします。



②気温の変化

寒暖差も自律神経に影響します。前日より気温が5℃以上下がるような時は、体がその変化についていけず、冷えによる血管収縮や、体温を調節する自律神経が過剰に働いてしまい、全身倦怠感や首こり・肩こり、胃腸障害などが起こりやすくなります。



■ 気象病の対策と予防法

自律神経を整える生活習慣

気象病の根本的な対策として最も重要なのが、自律神経のバランスを整えることです。

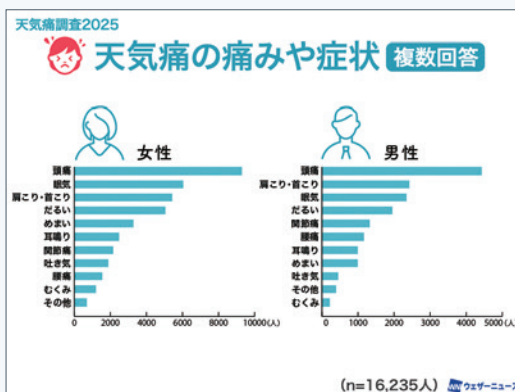
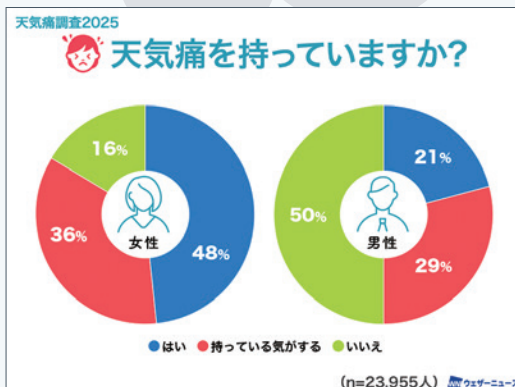
- 朝日を浴びて体内時計をリセットする習慣(セロトニンの分泌を促進)
- 就寝・起床時間を一定に保つ(休日も含めて±1時間以内)
- 朝食を必ず摂り、食事時間を規則的に
- 夕方以降のカフェイン摂取を控える
- 就寝前のスマートフォンやパソコン使用を減らす(ブルーライトカット眼鏡の活用)
- 38~40℃のぬるめのお湯に10~15分浸かる入浴習慣

水分補給と栄養管理

気象病対策として見落とされがちですが、適切な水分摂取は非常に重要です。

- 1日1.5Lを目安に、こまめに水分を補給する
- 低気圧接近前から意識的に水分を摂る
- カフェイン過剰摂取を避け、ハーブティーや麦茶などを取り入れる
- マグネシウムやカルシウムを含む食品を積極的に摂取する
- ビタミンB群やビタミンDを含む食品で神経の健康をサポート

水分補給は
マメに！



ウェザーニュース「天気痛調査 2025」より引用

③湿度の変化

高湿度の環境は体温調節や関節の状態に影響します。湿度が高い日は、汗が蒸発しにくく体温がこもりやすいので不調を感じやすい傾向にあります。

一方で冬場の低湿度は粘膜を乾燥させ風邪をひきやすくなるなど、間接的に不調の原因になります。つまり、湿度の急激な上下も体内の水分バランスや循環系に影響を及ぼします。



シールちゃん

気象病は決してめずらしい特殊な病気ではなく、日本では多くの人々が経験している身近な体調不良です。気象の変化そのものは避けられませんが、私たちの工夫次第でその影響を最小限に抑えることができます。ただし、症状がひどい時は我慢せず医療機関を受診しましょう。専門医に相談すれば適切な治療やアドバイスを受けられます。

大型ビジョン
CM動画放映ほか



予防週間期間中、LINKS UMEDA(北区梅田)とトンボリステーション(中央区道頓堀)で、恒例の当会オリジナルCM動画を放映した他、JR天王寺駅でも、駅構内のデジタルサイネージに電子ポスターを掲示いただきました。また、大阪府との共催事業として、茨木保健所制作の動画を大阪モノレール車内や保健所管内の施設等で放映しました。



全国斉
複十字シール運動
キャンペーンほか



ハイチーズ

9月25日(木)には、昨年に引き続きJR天王寺駅にて、大阪市地域女性団体協議会の皆さまとともに「全国一斉複十字シール運動キャンペーン」を実施しました。また、9月29日(月)には堺市主催の街頭キャンペーンにも参加させていただきました。さらに、出張健診先でも啓発グッズを配布し、複十字シール運動をより多くの方に知っていただけるよう呼びかけました。



2025年9月24日から30日



結核・呼吸器感染症予防週間行事報告

啓発
ライトアップ



予防週間期間中、大阪総合健診センターと大阪複十字病院では新たな試みとして、結核予防のシンボルである「複十字」のカラー・赤色で施設をライトアップしました。赤く輝く光には、結核対策の大切さと、呼吸器感染症を予防する意識を広げたいという願いが込められています。



9月25日(木)、グラングリーン大阪北館で開催された大阪府・大阪健康安全基盤研究所主催の啓発セミナーに、当会も共催団体として参加しました。会場では展示ブースを設け、結核予防に関する普及啓発や募金活動を行いました。



大阪府結核・呼吸器感染症
予防週間啓発セミナー

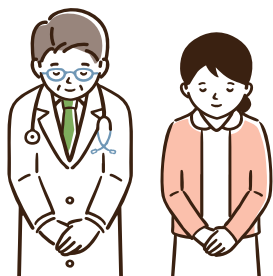


ゆめちゅうおうEXPO
第34回中央区健康展

9月27日(土)に「中央区健康展」が開催され、当会はCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の普及啓発を目的に「肺年齢測定コーナー」を出展しました。当日は100名を超える市民に体験していただき、検査結果に笑顔や驚きの声があがるなど、会場は大いに盛り上がりしました。あわせて、啓発グッズの配布も行いました。



空調設備改修工事のお知らせ～大阪総合健診センター～



このたび施設環境の向上を目的として、下記の期間に空調改修工事を実施いたします。

工事期間：10月24日(金)～12月21日(日)

影響範囲：2階・3階 健診エリア(空調停止)

工事期間中は一部空調の使用ができず、ご不便をおかけいたします。

気候の穏やかな時期ではありますが、快適にお過ごしいただけるよう工夫するとともに、安全面にも十分配慮しながら工事を進めてまいります。

ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

堺複十字診療所をご利用いただく受診者様・患者様へ

堺複十字診療所が入居するビル内の「高島屋堺店」は、2026年1月7日(水)をもって閉店されます。長年にわたり地域に親しまれてきた店舗の閉店は大きな節目となりますが、跡地には新たに商業施設「HiViE(ヒビエ)堺東」が誕生する予定です。当診療所につきましては、今後も変わらずリニューアル工事期間中も8Fフロアで健康診断・一般診療を続けてまいりますので、どうぞご安心ください。

工事期間中の当診療所へのアクセス方法などは、詳細が決まり次第ホームページでご案内いたします。引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

あなたの血管年齢は何歳？

「第16回 寝屋川公園フェスティバル」に出展！～大阪複十字病院～

大阪複十字病院は、今年も「寝屋川公園フェスティバル」に参加します。

このフェスティバルは、子どもから大人まで楽しめる様々な体験型のイベントが用意されていて、当院は血管年齢測定(無料)を実施します。

日程

11月3日(月・祝)[文化の日] 10:00～14:00

会場

寝屋川公園 陸上競技場

測定はとても簡単!指をセンサーに乗せるだけで、わずか16秒で結果が出て、その場でプリントをお渡しします。

また、当日は人気キャラクター「シールぼうや」も登場し、会場を一緒に盛り上げます。

ぜひご家族やお友達と一緒に、楽しく健康チェックを体験してください!



表紙：万博記念公園太陽の塔

「結核・呼吸器感染症予防週間」に合わせ、予防週間の周知と結核に対する関心を喚起することを目的に、結核予防のシンボルカラーである赤色でライトアップされた『万博記念公園太陽の塔』。今回、ライトアップは『大阪城』でも実施され、大きな反響を呼びました。

オリジナル照明デザインおよび
改修工事デザイン監修:
(株)石井幹子デザイン事務所
撮影:大阪城天守閣



健診予約はこちらをご利用ください。
大阪総合健診センター 直通電話番号

06-6202-6667



◀ 健診の案内など詳しくはWEBより

一般財団法人 大阪府結核予防会

事務局・ 大阪総合健診センター 相談診療所	大阪複十字病院	堺複十字診療所
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-6-5 TEL : 06-6202-6666(代表) FAX : 06-6202-6686 URL : https://www.jata-osaka.or.jp E-mail : info@jata-osaka.or.jp	〒572-0850 寝屋川市打上高塚町3-10 TEL : 072-821-4781(代表) FAX : 072-824-2312 URL : https://www.osaka-hospital.org E-mail : webmaster@osaka-hospital.jp	〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通59番地 南海堺東ビル(堺タカシマヤ上)8階 南海堺東駅クリニックセンター内 TEL : 072-221-5515(代表) FAX : 072-223-8534 URL : https://www.jata-sakai.jp E-mail : sakai@jata-osaka.or.jp

みなさまの健康を守ることで社会に奉仕するよう努めます